



効果的に INPUTを集中的に与え、 文法形式に気付かせ OUTPUTへ!



文法学習については

「練習問題で扱った英文(構造)であっても、形式が変わることで解けないことがある。

また、その段階で理解しても、時がたつと全く定着していない。」といった声をよく聞きます。

これらの声を踏まえて、今、求められている文法指導が Focus on Form に基づいた指導です。これは、常に target languages に実際の使用場面、機能を与えながら、《本質的》意味と文構造・形式を結びつけて、その文法形式の習熟を図るというものです。そこで今回、具体的な方法として提案するのが **Processing Instruction(PI)と呼ばれる指導法** です。この指導法では生徒に目標文法事項を含む Input を Listening や Reading を通して与え、意味理解を集中的に経験させ文法形式に気付かせ Output 活動へつなげる指導方法です。このDVDでは、PI を活用した文法指導の概要と、指導の手順、それぞれの活動内容について、解説と授業実演を通して詳細に紹介しています。また、文法項目別のバリエーションも多数取り上げていますので、一つの文法項目からでも実際の授業に用いてみてはいかがでしょうか。

DVD No. E139-S

PIを活用した文法指導 ～形式と意味とのつながりを持たせる学習法～

全2巻／セット特価 12,000円＋税 各巻 7,000円＋税(送料別)

解説：杉本 義美 京都外国語大学 英米語学科 教授

解説：鈴木 寿一 京都教育大学名誉教授／京都外国語大学大学院非常勤講師／桃山学院教育大学特別客員教授

授業実演：リム チジャ 龍谷大学付属平安中学校・平安高等学校 教諭

撮影協力：京都外国語大学

これまでの文法指導と
PIによる文法指導との相違点

	従来型指導法		PI
	明示的な文法説明	詳細	簡潔
練習	形式・意味	形式を重視	形式と意味を重視
	重視する技能	W(再生・産出)	L R(理解中心)
	音声インプット	ほとんどなし	多量
	練習形式	機械的	意味重視

E139-① PIを活用した文法指導の概要と基本パターン

E139-② PIを活用した文法指導のバリエーション

言語の使用場面、表現形式の意味に気づき理解を深める!